

## 藤枝市「ゼロカーボンシティ」表明

気候変動問題は、私たち一人一人、この星に生きる全ての生き物にとって避けることのできない、喫緊の課題です。

近年、国内各所において集中豪雨や大型台風などの気象災害が頻発し、甚大な被害をもたらしており、今後、このような水害等の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たち人類や全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現すべき事態と考えております。

2015年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されるとともに、昨年公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロにすることが必要」とされております。

藤枝市は、国際社会の一員として、市民、事業者と一丸となって、目指す環境像として掲げる「環境日本一のまち 未来に輝く 持続可能な環境行動都市」の実現に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロの「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明いたします。

令和3年2月15日

藤枝市長 **北村 正平**